

## 献 呈 の 辞

われわれの敬愛する、谷口昭先生は、2017年3月31日をもって、名城大学を定年退職されました。ここに、名城法学を退職記念号として編み、谷口先生に献ずることで、名城大学、そして法学部に対する先生の多大なご貢献に対して、感謝の念を表したく存じます。

谷口昭先生は、1974年に、法学部法学科に、日本法制史を担当する講師として着任され、教壇に立たれました。1977年には、助教授に、1985年には教授に昇格され、1990年からは大学院においても日本法制史をはじめとする科目を担当されました。44年間も、名城大学で教育にあたられたこととなります。その間、法学部協議員、法学科長などの要職を歴任されています。

また、先生は、長く、科学研究費のアドバイザーとして、法学部の教員の研究を支援していただきました。近世法制史に関する多数の著書、論文に加え、三重県史、亀山市史など地域の歴史編纂へのご貢献にも特筆すべきものがあります。いつも法学部資料室で精力的に資料整理をされている姿をお見掛けするにつれ、研究の厳しさと楽しさを教えていただきました。

谷口先生がこれからますますご健康で、いっそう充実した日々をお過ごしになられるよう祈念いたしますとともに、今後も名城大学名誉教授として、本学および法学部のために貴重なご助言とご友誼を賜りますようお願い申し上げます。先生の長年のご労苦をねぎらい、ささやかなものではございますが、謹んで本論文集を捧げます。

2017年9月

名城大学法学会 会長 / 法学部長

近 藤 敦